

別紙

本件発明 1 との関係における乙 1 7 発明の構成

原告主張	被告主張
○	a 1 : 4 本の支持軸と,
○	b 1 : これら 4 本の支持軸の先端部に回転可能に支持されたマッサージ用の 4 個のローラと,
○	c 1 : これらローラを同一水平面上に載置した状態で, 上方から見た平面視において, 各ローラの一部に重なるように形成されたハンドルと, を備えており,
x 1 : 4 個のローラは基端側と先端側に穴を有し, 各ローラの先端側の穴から支持軸が抜け出た貫通状態であり,	○
○	d 1 : 4 本の支持軸は, 一方向からの側面投影において二対が先広がり傾斜状であるとともに, 90 度異なる他方からの側面投影において他の組み合わせの二対が先広がり傾斜状に延びており,
e 1 : 4 個の前記ローラを肌に押し当てて図 1 中上下に隣接する一対のローラの配列方向と交差する方向に沿って移動させると, 一対のローラは, 身体の脂	e 1 : 4 個のローラを肌に押し当てて図 1 中上下に隣接する一対のローラの配列方向と交差する方向に沿って移動させると, 一対のローラは, 体の脂肪部分を把持し, それ

<p>肪部分を把持し, それによって脂肪分を揉み,</p>	<p>によって脂肪部分を揉み, かつ, 図 1 中左右に隣接する一対のローラの配列方向と交差して隣接する一対のローラの配列方向と交差する方向に沿って移動させると, 一対のローラは, 体の脂肪部分を把持し, それによって脂肪部分を揉む</p>
<p>y 1 : 4 個の前記ローラを肌に押し当てて図 1 中左右に隣接する一対のローラの配列方向と交差する方向 (図 1 中上下方向) には移動しない</p>	<p>争う。</p>
<p>○</p>	<p>f 1 : マッサージデバイス。</p>

5

10

15

別紙

本件発明 1 との関係における乙 1 8 発明の構成

原告主張	被告主張
○	a 2 : 4 本の支持軸と,
○	b 2 : これら 4 本の支持軸の先端部に回転可能に支持されたそれぞれ 3 個の離間したローラを有するマッサージ用の 4 個のローラ部と,
○	c 2 : バーと, を備えており,
x 2 : 4 組のローラ部は基端側と先端側に穴を有し, 先端側の穴から支持軸が抜け出た貫通状態であり,	○
	d 2 : 4 本の支持軸は, 一方向からの側面投影において, 二対が先広がり傾斜状であるとともに, 90 度異なる他方からの側面投影において他の組み合わせの二対が先広がり傾斜状に延びており,
e 2 : 4 個のローラ部を肌に押し当てて図 1 中左右に隣接する一对のローラ部の配列方向と交差する方向(図 1 中上下方向)に沿って移動させると, 先行する一对のローラ部は, 皮膚を引き延ばし,	e 2 : 4 組のローラ部を肌に押し当てて隣接する一对のローラ部の配列方向と交差する方向に沿って移動させると, 先行する隣接状態の一对のローラ部で肌を引き延ばし, 後行する隣接状

<p>後行する一対のローラ部は、皮膚を内向きに引っ張り、</p>	<p>態の一対のローラ間で肌を引っ張り揉む</p>
<p>y 2 : 4 個のローラ部を肌に押し当てて 図 1 中上下に隣接する一対のローラ部の配列方向と交差する方向 (図 1 中左右方向) には移動しない</p>	<p>争う。</p>
<p>○</p>	<p>f 2 : マッサージデバイス。</p>

5

10

15

別紙

本件発明 2 との関係における乙 1 7 発明の構成

原告主張	被告主張
○	a 3 : 4 本の支持軸と,
○	b 3 : これら 4 本の支持軸の先端部に回転可能に支持されたマッサージ用の 4 個のローラと, を備えており,
y 1 : 4 個のローラは基端側と先端側に穴を有し, 各ローラの先端側の穴から支持軸が抜け出た貫通状態であり,	○
○	c 3 : 4 本の前記支持軸は, 一方向からの側面投影において二対が先広がり傾斜状であるとともに, 90 度異なる他方からの側面投影において他の組み合わせの二対が先広がり傾斜状に延びており,
d 3 : 隣接する一対の前記ローラの間隔と, これらのローラの配列方向と交差する方向で隣接する一対のローラの間隔との広狭の関係は不明であり,	d 3 : 隣接する一対のローラの間隔が, これらのローラの配列方向と交差する方向で隣接する一対のローラの間隔よりも狭く,

<p>e 3 : 4 個の前記ローラを肌に押し当てて図 1 中上下に隣接する一対のローラの配列方向と交差する方向に沿って移動させると、一対のローラは、身体の脂肪部分を把持し、それによって脂肪分を揉む</p>	<p>e 3 : 4 個のローラを肌に押し当てて図 1 中上下に隣接する一対のローラの配列方向と交差する方向に沿って移動させると、一対のローラは、体の脂肪部分を把持し、それによって脂肪部分を揉み、かつ、図 1 中左右に隣接する一対のローラの配列方向と交差して隣接する一対のローラの配列方向と交差する方向に沿って移動させると、一対のローラは、体の脂肪部分を把持し、それによって脂肪部分を揉む</p>
<p>○</p>	<p>f 3 : マッサージデバイス。</p>

別紙

本件発明 2 との関係における乙 1 8 発明の構成

原告主張	被告主張
○	a 4 : 4 本の支持軸と,
○	b 4 : これら 4 本の支持軸の先端部に回転可能に支持されたそれぞれ 3 個の離間したローラを有するマッサージ用の 4 個のローラ部と, を備えており,
y 4 : 4 組のローラ部は基端側と先端側に穴を有し, 先端側の穴から支持軸が抜け出た貫通状態であり,	○
○	c 4 : 4 本の支持軸は, 一方向からの側面投影において二対が先広がり傾斜状であるとともに, 90 度異なる他方からの側面投影において他の組み合わせの二対が先広がり傾斜状に延びており,
○	d 4 : 隣接する一対のローラ部の間隔が, これらのローラ部の配列方向と交差する方向で隣接する一対のローラ部の間隔よりも狭く,
e 4 : 4 個のローラ部を肌に押し当てて図 1 中左右に隣接する一対のローラ部の配列方向と交差する方向(図 1 中上下	e 4 : 4 組のローラ部を肌に押し当てて隣接する一対のローラ部の配列方向と交差する方向に沿って移動させると, 先

<p>方向) に沿って移動させると、先行する      一对のローラ部は、皮膚を引き延ばし、      後行する一对のローラ部は、皮膚を内向      きに引っ張り、</p>	<p>行する隣接状態の一对のローラ部で肌      を引き延ばし、後行する隣接状態の一对      のローラ間で肌を引っ張り揉む</p>
<p>○</p>	<p>f 4 : マッサージ器。</p>